

ナシの作況について(8月19日分)

農技研果樹担当

1 生育状況等

- (1)「無処理幸水」7割程度が収穫終了し、果実の肥大は平年並みであった。
- (2)「豊水」の果実肥大は回復傾向。
- (3)「彩玉」の果実肥大は回復傾向。
- (4)「あきづき」の果実肥大は停滞傾向。軸折れがやや多い。

2 病虫害の発生状況

ハダニ類の多発した箇所は気門封鎖剤を散布。ハダニ類の発生は小康状態であるが、豊水以降の品種では、果梗の付け根やていあ部にハダニ類が密集した果実もみられる。

「あきづき」、「甘太」等、中生以降の品種は防除を行ったため、カイガラムシ類の発生は見られない。また、中生以降の品種については、シンクイムシ類の防除も行う予定である。

3 早生品種の収穫

「彩玉」の収穫が8月17日から始まったが、収穫された果実はごくわずかであり、来週はじめ頃から本格的な収穫が始まるものと予測している。

「豊水」は苗木や根いたみを起こしている樹は着色が始まっている場合もあるが、収穫始は来週なかば以降と予測している。「彩玉」と収穫が重なるので、双方の熟度を考慮し計画的に収穫を行う。

「あきづき」は果実の肥大状況から、9月に入ってから収穫始と予測している。果実肥大が後半にずれ込む場合は、果肉褐変等の果肉障害が出やすくなるとの説もあるので留意する。